



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.50

令和3年11月12日

文責：校長 伊藤 孝行

5・6年生の持久走記録会を行いました。

今週は、火曜日から持久走記録会の予定でしたが、あいにくの雨や校庭のコンディションが悪く、1年生～4年生は延期になり、11日（木）によろしく5・6年生の部を行うことができました。



開会式で子どもたちには、「持久走は自分との闘いです。辛いな、苦しいなと思ったとき、そこで諦めてしまうのか、もう少し頑張るかで結果は大きく変わります。順位も気になりますが、自己記録の更新が重要です。頑張ってください。」とお話しました。

2年生、品竹さんから民話を聞きました。

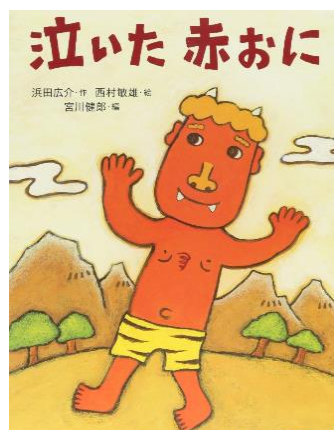
8日（月）に2年生は、民話の語り部の品竹悦子さんから、昨年度に続き民話を聞いて楽しい時間を過ごしました。



普段はゲームやDVD等に夢中になっている子どもたちですが、昔話の楽しさや方言の響きの面白さなど、品竹さんのお話に夢中になって聞き入っていました。

講師の品竹さんからは、「子どもたちが集中してお話を聞くことができていること、去年のこともよく覚えていて手遊びもじょうずにできた」と、たくさんほめていただきました。

童話「泣いた赤鬼」をご存知ですか？



童話「泣いた赤鬼」は、国語の教科書や道徳の副読本などの作者として有名な「浜田広介」さんの代表作の一つです。

あらすじは、村人と仲良くしたいと願う赤鬼のために、友達思いの青鬼がわざと人間に悪さをして、赤鬼が村人を助ける。山にいられなくなり旅に出た青鬼が書き置いた「ドコマデモ キミノ トモダチ」という言葉を目にした赤鬼は、涙を流す・・・。

作者の浜田広介さんが生まれたのは、福島県の隣の山形県の高畠町です。

高畠町には、浜田広介記念館があり多くの作品が展示されています。2017年に新しくできた東北中央道を使えば、1時間半程度で行くことができます。童話好きの方は、「泣いた赤鬼」の故郷にお出かけしてみたいはいかがでしょうか。

3学期以降の給食費補助・トイレ清掃継続決定

郡山市による新型コロナウイルス関連事業として行われています「学校給食費補助事業」と「業者による学校トイレ清掃事業」は、3学期も継続して行われることが議会で決定され予算化されました。3学期の給食費の集金計画については、補助金の額を算定した案を策定し、後日お知らせいたします。